

令和4年度

傾聴ボランティア講座

日程 令和4年9月28日・10月12日・26日
場所 岩見沢広域総合福祉センター
講師 傾聴ボランティアサークル「ニコニコ」
合同会社 うえるかむ 池田 ひろみ氏

傾聴とは？

- ①相手の人が気持ちを整理するお手伝い
- ②話ができる喜びを提供すること
- ③相手の人がとことん話せる場を提供すること
- ④相手の人の孤独感を開放すること

第1回「傾聴の基本」について

[感想]

- ・相手の話を最後まで聴く姿勢の大切さに気付かされました。

第2回「傾聴するためのコツ」について

[感想]

- ・あいづちとうなずきの大切さ再認識しました。
- ・相手の話を評価しないということ、とても新鮮でした。今まで気づかずに話の中で評価していたと反省です。
- ・今回のうなずきは、最近自分が人との対話時に、人より頭を振るのが多いと思うのでどうしたらいいかと考えている最中だったので大変興味深かったです。

第3回「相手の心に寄り添う傾聴」について

[感想]

- ・相手の話を自分の価値観とは切り離して聴くこと。いつの間にか相手を説得しようとしている。質問の仕方など傾聴としてだけでなく日常生活の中での会話や人間関係に役立つものでした。
- ・開かれた質問、閉じられた質問を聞き、施設で働いていた時の利用者さんとの会話を思い出しました。実際にそうやっていた感じがします。

[講座全体を通しての感想]

- ・傾聴という人の話を聴く、日常での行いにも相手が気持ち良く話してもらうためのコツがあり、そのことを学習することが出来て大変役立ちました。

(参加者 9名)

ボランティア登録団体紹介

北海道災害支援ランティア チームノース

代表
池島 和行

胆振東部地震をきっかけに有志で結成された民間の災害支援団体が全国の被災地でボランティア活動を実施しています。

活動内容は、災害時復旧復興支援、炊き出し、ボランティアセンター運営支援など多岐にわたります。

岩見沢市に拠点を置き活動しております。



ボランティア活動に関する相談事は、ボランティアコーディネーターが受けします。

あなたも、ボランティア活動に参加しませんか。連絡をお待ちしています。

相談時間
(平日)
10時30分～15時30分
※土・日・祝祭日・お盆・年末年始はお休みします。



ボランティアセンター情報

2022.12 発行 NO. 63

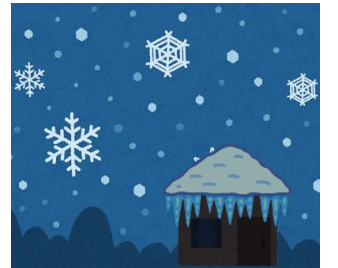
おいあい

〒068-0031 岩見沢市11条西3丁目 岩見沢広域総合福祉センター
岩見沢市ボランティアセンター TEL・FAX 25-5516
岩見沢市社会福祉協議会 TEL 22-2960

今年も残すところ僅かになりましたが、日頃より会員の皆様には精力的に活動して下さい感謝しているところです。

それにしても、今年もコロナで明け、コロナで終わるなら良いのですが、コロナの勢いは終わることを知らず、勢いが増すばかりで第8波に突入し、今シーズンはインフルエンザとの同時感染も懸念される中、油断できる状況にはありません。手洗い、消毒、換気、マスクの着用、ワクチン接種などで自己防衛するしかない状況です。

皆さん、くれぐれも健康に留意して、良い年をお迎え下さい。



福祉体験学習実施中!

コロナ禍の中、若干第7波が落ち着いて来た頃から WITH コロナということもあり、各学校から福祉体験学習も申し込みが徐々に増え始め、11月17日現在で9件、実施しています。

まだまだ、たくさんの学校からの申し込みがありますが、それ以降についてはコロナの第8波の爆発的な感染増で今後の実施については今のところはどうかは予想がつきません。

実施された所の学校の皆さんは、楽しく、また真剣に福祉体験学習を習得していました。

実施校

岩見沢市立日の出小学校 10月28日(金) ガイドヘルプ体験
11月11日(金) 車いす体験
11月16日(水) 点訳体験
11月17日(木) 手話体験

月形町立月形小学校 11月 1日(火) 手話体験
岩見沢市立北真小学校 11月 4日(金) 高齢者疑似体験
11月 9日(水) 車いす体験
11月10日(木) ガイドヘルプ体験
北海道立岩見沢西高等学校 11月 7日(月) 手話体験



令和4年度 精神保健ボランティア講座

【日 時】令和4年10月13日（木）13時00分～15時30分
10月20日（木）13時00分～15時00分
10月27日（木）13時00分～16時00分 全3回

【主 催】岩見沢市社会福祉協議会 岩見沢市ボランティアセンター

【後 援】南空知保険保健福祉協会

【協 力】精神保健ボランティアサークル友（YOU）

【参加者】6人

精神障がいへの理解を深め、精神障がい者が豊かな地域生活を送ることができるよう、その橋渡し役としての精神保健ボランティアを養成することを目的に開催されました。

予定していたプログラムが新型コロナウイルスの影響により、予定変更や中止等ありましたが、ご協力いただいた皆様には深く感謝を申し上げます

【1日目】

精神保健福祉士の三品氏（岩見沢市立総合病院）を講師に招いて、現代社会と精神保健福祉の歴史について、中村氏（ミナミナの会）には自らの体験談を踏まえて障がい当事者を支える家族についてをお話頂きました。

【2日目】

岩見沢市ボランティアセンターコーディネーターよりボランティアの心構えについてどのようなボランティアの心構えを行うかを学びました。

patisserie soraka（パティスリー 空香）様へ訪問し、障がい当事者が働いている職場や住まいを見学し、どのような環境で過ごしているかを学びました。

【3日目】

元井氏（南空知地域生活支援センター）とピアサポーターの方には障がい当事者の声として、普段の日常生活を通してどのように過ごされているかお話頂きました。

また、精神保健ボランティアサークル友（YOU）様の活動内容を紹介させて頂き、どのように関わりをもっているかお話をしました。



＜感想＞

- 自分では関係ないことと思っていた事が色々と勉強になった。少しでも知っていることが役立つことがある。
- 当事者からいろいろなお話が聞けて大変勉強になり良かったと思いました。

令和4年度

やさしい在宅介護講習会



日 時 令和4年11月17日（木）、18日（金） 各13時～16時

会 場 岩見沢広域総合福祉センター

目 的 認知症等、身体的介護が必要となった家族・大切な人を、自宅で介護するために必要な基礎知識・技術を学び、家庭や地域で孤立することなく生活ができるようにする。

参加者 6名

1日目は介護保険の仕組みや保険料の算定、利用手順、どのようなサービスを受けられるか等について説明および介護者の体験談がありました。

2日目は「ベットからの移乗など」の実践、「食べる楽しみを支える口腔ケア」についての講演・実技があり、「声かけ」がとても大事なことと話された。最後に「介護に係る福祉用具の体験」として介護に便利かつ必要な用具等の実技体験があり、特に車いすは種類も豊富で安全装置等が付き、使い勝手もよくなってきているとこのことを学びました。



1日目 講話「介護保険の利用について」の様子 2日目 「介護に係る福祉用具の体験」の様子

～受講者の感想～

○1日目のお話はあまり興味がありませんでしたが、実践についてはもう少し時間をとってほしかったです。

○これから自分を含め介護の世話になるかもしれないので色々勉強になりました。

○大変役に立ちました。早速ベットの移乗の練習をしてみます。説明も丁寧でわかりやすかったです。

○口腔ケアは食べる・飲み込む・生きる喜びに大切な役割奥歯の必要性も知りました。

○何度聞いても参考になるので良い講座と思いました。車椅子も年々進歩している。